



キーウェアソリューションズ株式会社
東証第二部 3799

IT can create it.

2016年3月期

決算説明資料

※ 本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。

また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※ 掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



2016年3月期 実績

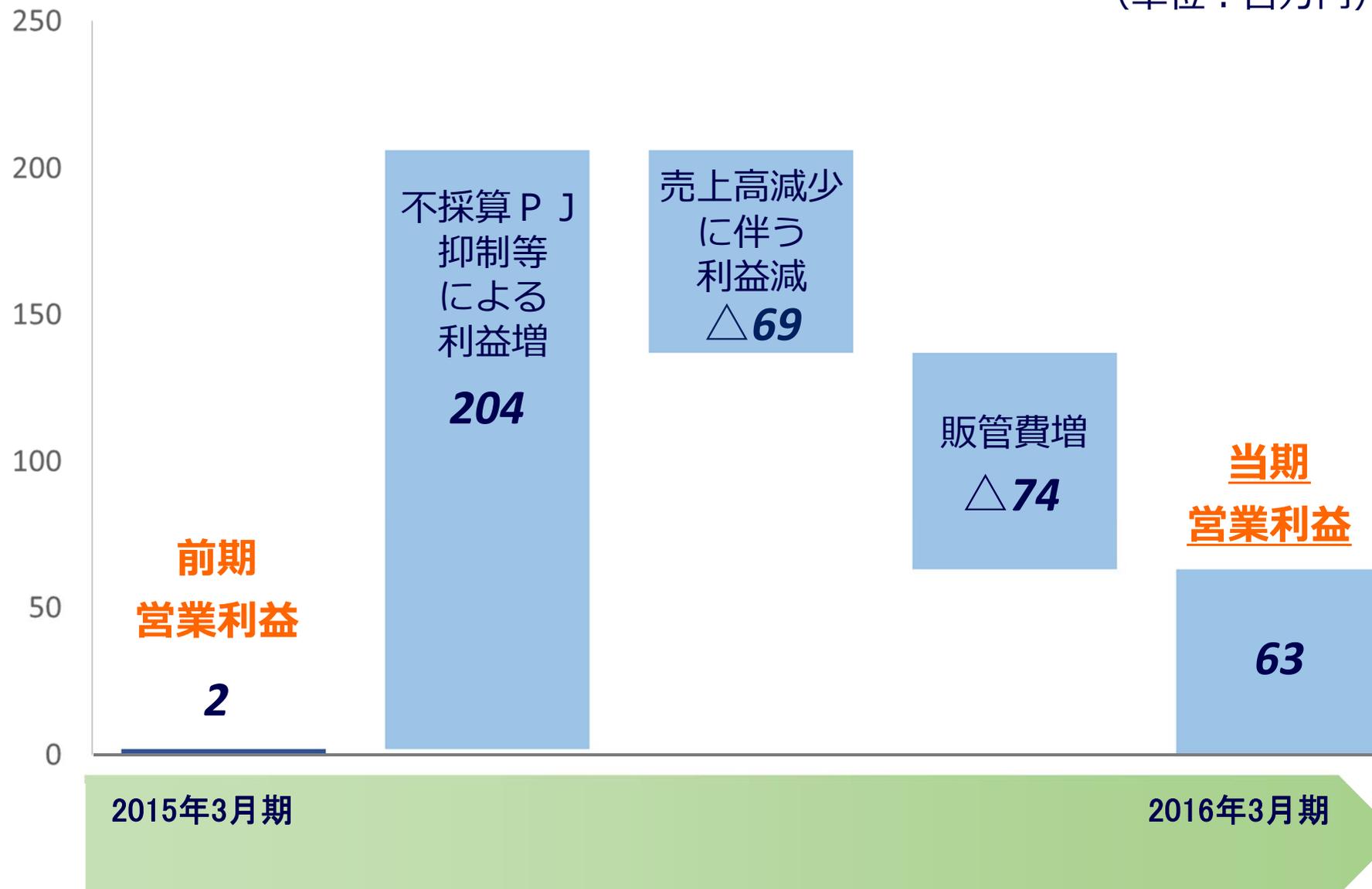
前年同期比で減収増益

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比(%)
売上高	16,382	15,988	△2.4
営業利益	2	63	—
経常利益	65	128	94.8
当期純利益	△78	66	—

営業利益変動要因

(単位：百万円)



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

<システム開発事業>

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比（%）
売上高	11,488	10,716	△6.7%
営業利益	6	217	(大幅改善)

- 官庁系・運輸系の既存顧客からのシステム更新が端境期にあたり需要が減少
- 公共系では監視制御案件が拡大、メディア系では新規の大型案件を受注
- 不採算プロジェクトの発生防止を徹底、前期比で大幅な利益改善

<S I 事業>

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比（%）
売上高	2,087	1,926	△7.7%
営業利益	133	143	7.2%

- 既存顧客のグローバル展開案件やERP系の新規案件を複数受注

事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

<プラットフォーム事業>

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比（%）
売上高	965	1,724	78.7%
営業利益	△142	△111	—

- 某独立行政法人からインフラ構築系の大型案件を受注
- 新規顧客からAWSを活用した業務システム構築案件を受注

<その他>

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比（%）
売上高	1,841	1,620	△12.0%
営業利益	△8	△86	—

- 運用・保守系は堅調に推移も、機器・ライセンス販売が低調に推移

「中期経営計画2015」基本方針と重点施策

2016年3月期
～2018年3月期

1. 既存事業の収益性向上と安定化

- システム開発事業：顧客軸から業種・業務軸へ
- SI事業：ERP事業における売上高、利益額の拡大

2. ポートフォリオの多様化

- フロンティア事業(新規事業)の育成

3. 経営基盤の整備、改革

- プロジェクト横断機能の更なる強化
- 社員の“活カアップ”

1. 既存事業の収益性向上と安定化

<成果>

■ システム開発事業

- プロジェクトを見える化し、絞り込みを行う仕組み構築
当社が付加価値を発揮できる業種・業務へリソースをシフト

■ SI事業

- SAP、Bizf、IFSのERPパッケージ活用推進、新規顧客獲得
- SAP認定コンサルタント数の増加
2015年3月末 89名
2016年3月末 110名

2. フロンティア事業(新事業)

<成果>

■ 農業ICT

- 農業ICTソリューション「OGAL(オーガル)」
NECソリューションイノベータ(株)との共同展開開始
- 全国9箇所の農園で稼働中

■ 医療・ヘルスケア

- 健康管理サポートサービス「LifeRoute(ライフルート)」
NDソフトウェア(株) 介護事業者向けソフトウェア*¹と連携
- 福島県 医療福祉情報ネットワーク事業*²等に参画

*¹ ほのぼのTouchシリーズ Care Palette(ケアパレット)

*² 「妊婦検診情報共有システム」

3. 経営基盤の整備、改革

<成果>

■ プロジェクト横断機能の更なる強化

- 横串をさしたプロジェクト管理の徹底
前年度、不採算プロジェクト発生を抑制

■ 社員のスキル向上、活カアップ

- PM力向上に向けた研修制度、資格取得制度の充実
PMP資格取得者数 110名 (2015年度 46名合格)
- 社員参加型経営改善活動「IKI²！プロジェクト」
- ワークライフバランス改善

事業環境認識・今期の取り組み

IT業界

- 熊本地震や円高の影響による情報化投資の抑制リスク
- ネットワークやデバイスの高度化によるIoT市場の拡大
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたインフラ投資の拡大
- クラウドサービス普及などによる競争環境激化

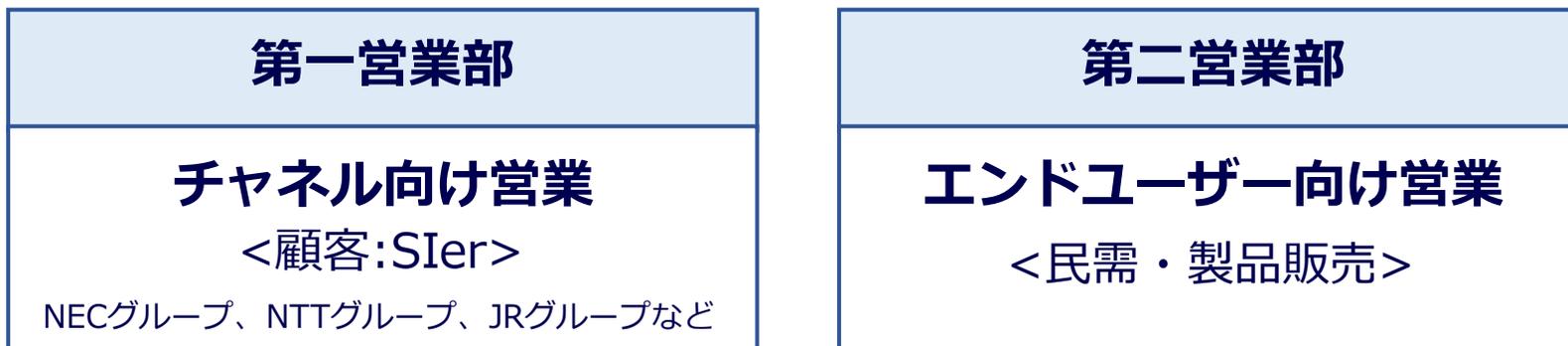
当社

- 運輸系の既存顧客からのシステム更新の端境期が今期も継続見込み

<今年度の戦略方針>

■ 受注拡大に向けた営業体制の再構築

[新体制]



意思決定の迅速化、営業の効率化

大規模、継続案件の受注拡大
業種・業務軸へのシフトに向けた戦略的受注の推進

■ SI戦略の明確化とERP事業の戦略的強化

旧SI事業部よりERP部門を分離し、戦略を明確化



■ プラットフォーム事業の戦略的活用

最新鋭の技術と業務システムの融合により、受注案件の領域拡大と顧客価値を拡大



■ 新事業の育成

- 農業ICT、ヘルスケア・医療領域の継続推進
- カスタマーサクセス本部の新設
 - ・生産性向上などによる顧客価値の最大化を実現する
BPMコンサルティングサービス：VSC(バーチャルサポートセンター)

■ 経営基盤の整備、改革

- プロジェクト横断機能の更なる強化
 - ・不採算プロジェクトの抑制継続に向けたプロジェクト管理の徹底
- 社員の“活力アップ”
 - ・有給休暇取得・時間外削減の推進によるワークライフバランス推進
 - ・社員参加型経営改善活動「IKI²！プロジェクト2016」
 - ・人材育成、女性の活躍推進

連結業績予想

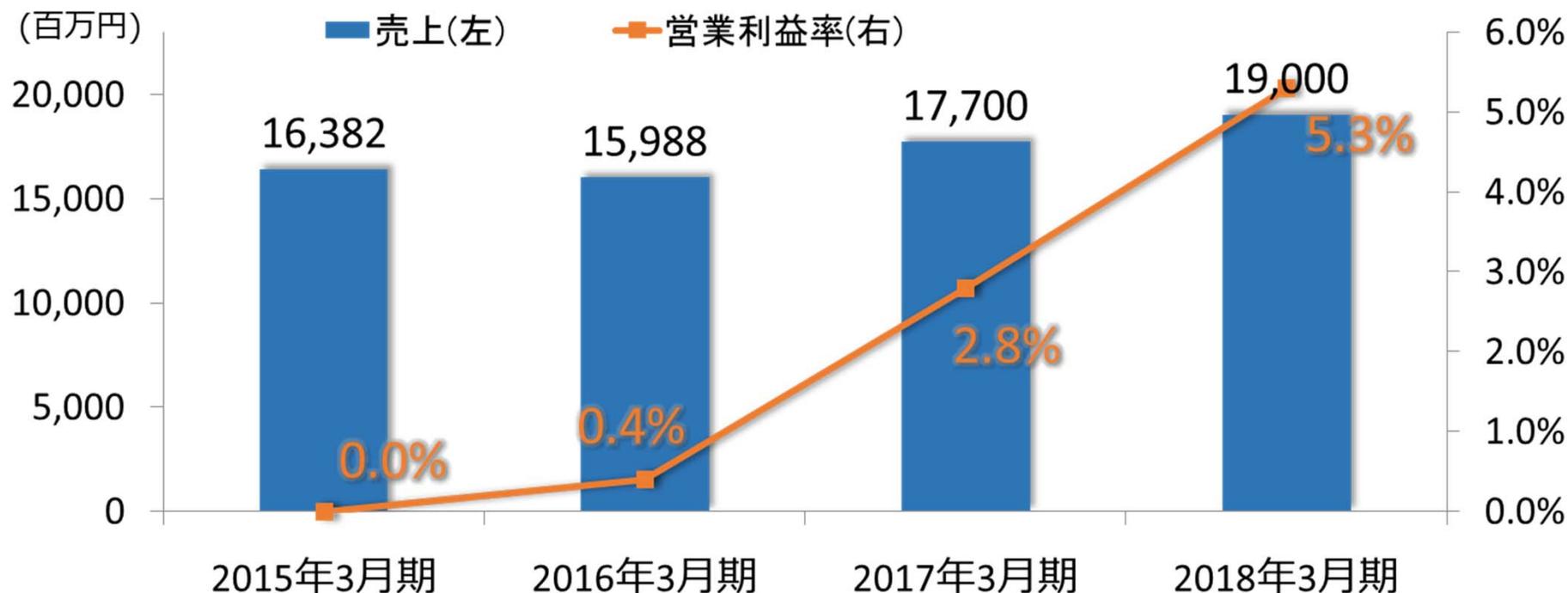
2017年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 (予想)
売上高	16,382	15,988	17,700
営業利益	2	63	500
経常利益	65	128	420

中期経営計画 数値目標（連結）

2年目計画値を修正し確実な達成を目指す



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上(百万円)	16,382	15,988	17,700	19,000
営業利益(百万円)	2	63	500	1,000
営業利益率(%)	0.0%	0.4%	2.8%	5.3%

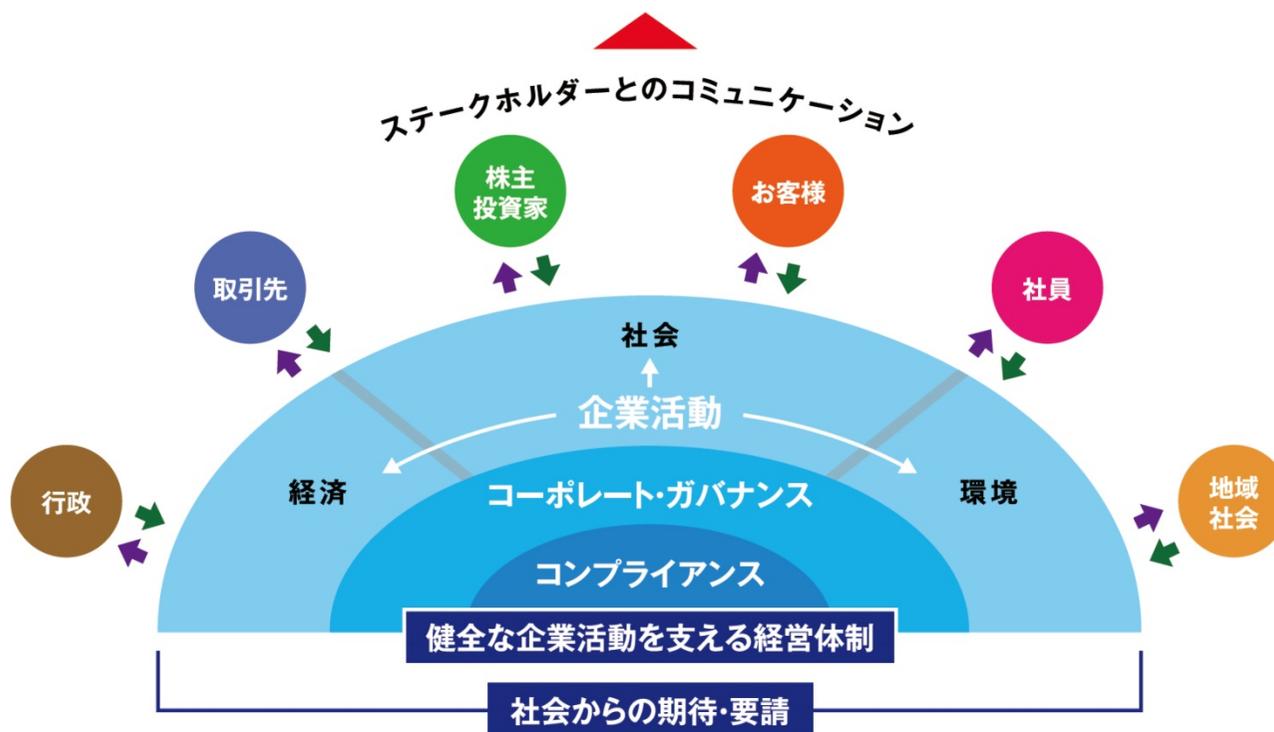
CSR（社会・環境活動への取組み）

社会や顧客に信頼されるとともに成長を期待される企業へ

1 社会や顧客に対し、最適な商品やサービスを提供し、そのために常に先端技術の探求と普及に努めてまいります。

2 上場企業として社会的責任を十分に認識し、積極的にコンプライアンス（法令順守）を推進いたします。

社会の持続的発展への貢献、企業価値の向上



御清聴いただきありがとうございました。



お問い合わせ

E-Mail: ir@keyware.co.jp

TEL: 03-3306-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

參考資料

会社概要

社名	キーウェアソリューションズ株式会社
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合サービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)
代表者名	代表取締役会長 村上 優 代表取締役社長 三田 昌弘
設立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上高	159億円 (2016年3月期・連結)
従業員数	1,079名 (2016年3月末現在・連結)
主要法人株主	・日本電気株式会社 (35.02%) ・株式会社JR東日本情報システム (2.63%) ・日本ヒューレット・パッカード株式会社 (2.63%) ・株式会社三井住友銀行 (1.10%) ・住友生命相互保険会社 (1.10%) (2016年3月末現在)
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ

企業理念

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

I T c a n c r e a t e i t .

クリエイティブな発想で、I Tの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

沿革

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

- 1965年 コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年
 - ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
 - ・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年
 - ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1991年
 - ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年
 - ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
 - ・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
 - ・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年
 - ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ
 - ・社内のメール/情報共有環境としてロータス・ノーツ導入開始

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年
 - ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得
 - ・SAP R/3自社導入
- 2000年
 - ・プライバシーマーク制度認証取得
 - ・三菱商事、ジェイアール東日本情報システム、日本HPより資本参加を受けパートナー関係強化
- 2001年
 - ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更
 - ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
 - ・キーウェアサービス(株)設立
- 2002年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
 - ・キーウェアマネジメント(株)設立
- 2003年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
 - ・キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立

Phase4

IT新時代むけた積極的な取り組み

IT新時代に向け、異業種とパートナー契約を締結

- 2003年
 - ・NTTドコモ ソリューションマーケティングパートナー契約締結
- 2004年
 - ・アイ・ティ・フロンティアと共同で中国でのSAP R/3アドオン開発開始
 - ・日本電気 UNIVERGEアプリケーションパートナー認定取得・EAコンサルティング事業開始
- 2005年
 - ・日本電気 UNIVERGEセールspartnerダイヤモンド認定取得
 - ・keyCOMPASS事業開始
 - ・IP電話事業開始
 - ・IDSシェア・ジャパン ARIS PPMパートナー企業
 - ・環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年
 - ・ジャスダック証券取引所に株式を上場
 - ・資本金を17億37百万円に増資
- 2007年
 - ・「GO-Global」を利用した新世代シンクライアント・ソリューションの提供を開始
 - ・IT業界向け人材派遣事業をスタート
- 2008年
 - ・東京証券取引所第2部に株式上場
 - ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年
 - ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年
 - ・株式会社NTTデータイントラマートとBizJソリューション販売に関する特約を締結
 - 「BizJ AWARD 2010 秋」「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年
 - ・日本オラクル株式会社と「Oracle Exadata Database Machine」導入コンサルティングサービスで協業開始
 - ・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2012年
 - ・「キーウェアマネジメント株式会社」を吸収合併
 - ・東北支店を開設
- 2015年
 - ・札幌、大阪、福岡に営業所を開設